

# 西和賀の住まいの歴史

茅葺の家屋	昭和30年代以前	
入母屋造の家屋	昭和40年代以前	
東西落雪大屋根	昭和37年以後	南向きに窓
水平無落雪屋根		
バリアフリーと省エネ		

# 茅葺の直家

板壁と中門が特徴

雪囲い 長木(稲掛兼用)と  
茅で壁面を囲う

昼でも家の中が暗くなる

雪下ろし必要 一冬3回  
以上

軒払い 屋根から落とした  
雪の処理

雪払い 出入り口の除雪  
(中門を延長したヒヤシ  
コの出入り口)

キリヤ 吹き溜まりやすい  
北東向きの屋根を下から  
カットして雪の加重バラ  
ンスをとる



# 切妻東西大屋根

昭和37年以降の住宅改善

雪囲い 一階の窓を屋根からの落雪から保護するため窓枠に板を数枚付ける

雪下ろし 基本的に不要  
東西に落雪する切妻の大屋根

採光 南向きに窓を多くした

床が高め

牛馬の飼育がなくなってきたので、間取りは都市とさほど変わらない

中門は残っている

